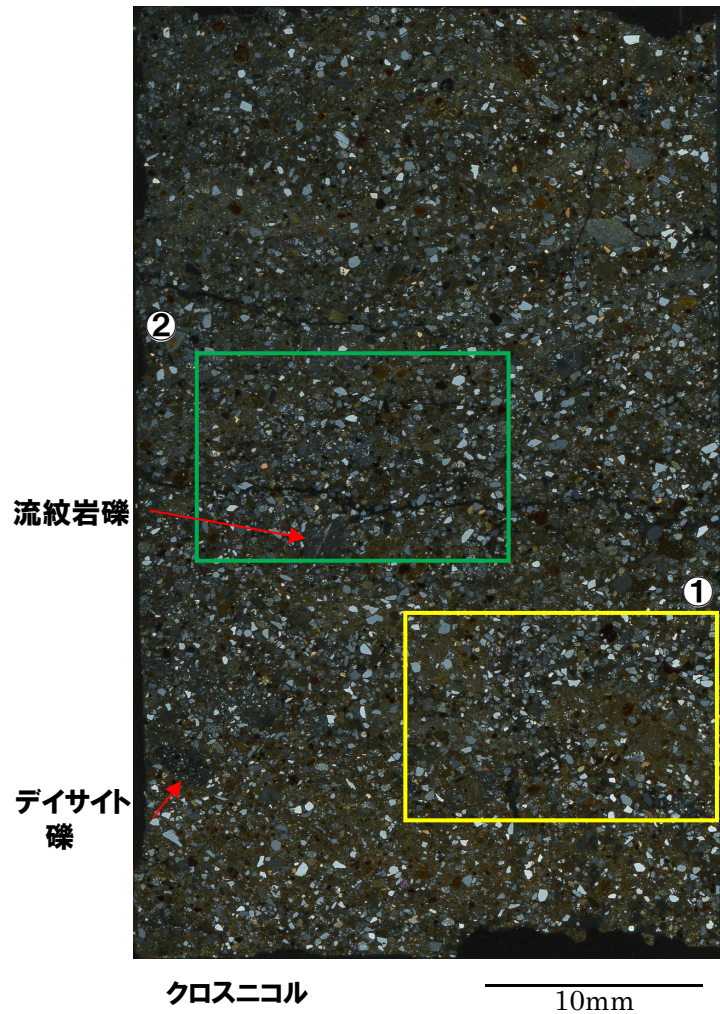


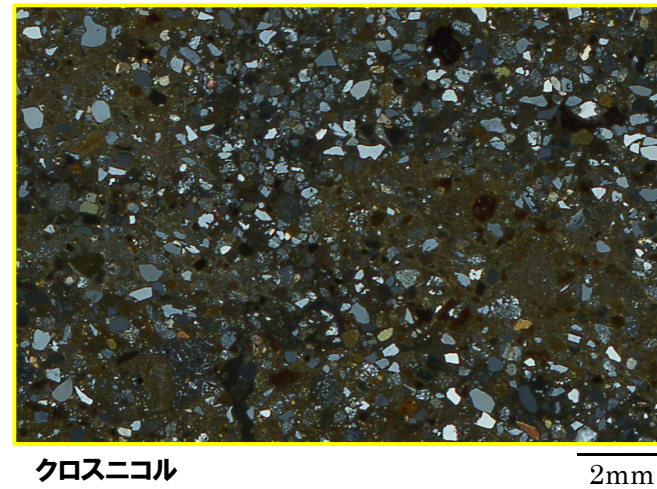
(1)地層区分及びユニット区分

③-2 薄片観察-SKB-TW-3-1 (2/2) -

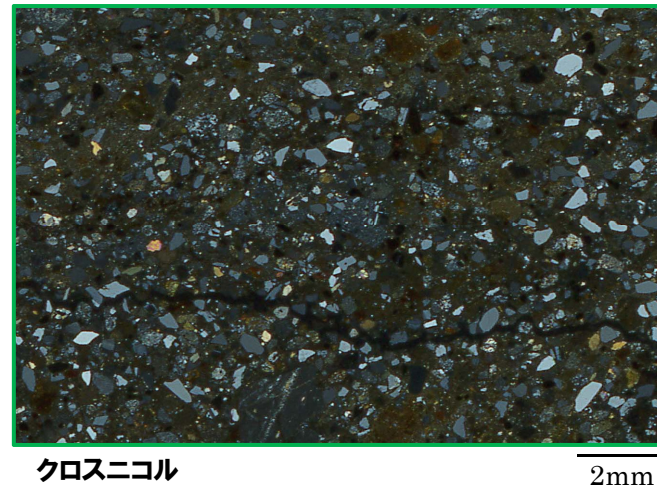
再掲 (R2/8/7審査会合)



<拡大写真①>



<拡大写真②>



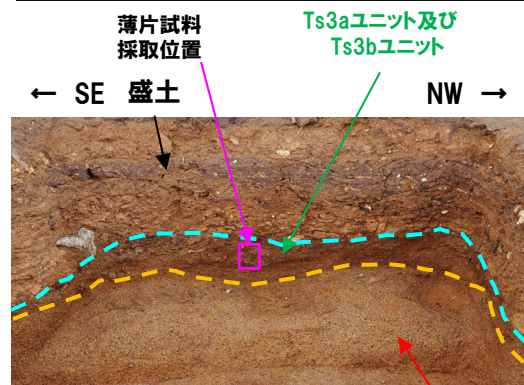
(1)地層区分及びユニット区分

③-2 薄片観察-SKB-TW-3-2(1/2)-

一部修正(R2/8/7審査会合)

【SKB-TW-3-2(Ts3bユニット)】

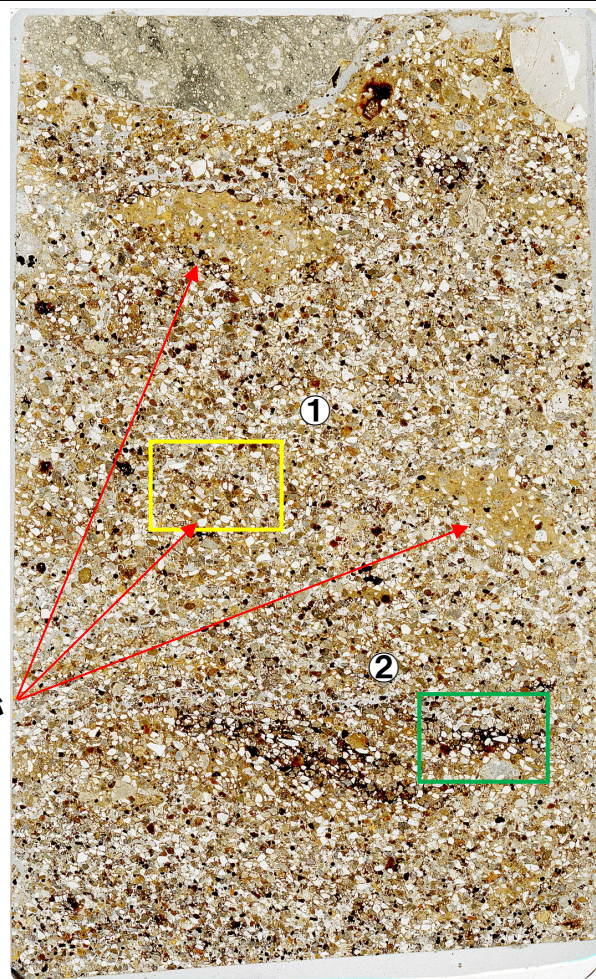
- 角ばった砂粒径の碎屑物を主体とし、丸みを帯びた砂粒径の碎屑物が少量混じる。粒子間に粘土鉱物及び泥粒径の碎屑物が認められ、局所的に濃集する(拡大写真①)。
- 旧海食崖を形成する基盤岩である火山礫凝灰岩由来の亜円礫及び流紋岩の円礫が認められる。
- 粒子の縁及び粒子間に酸化鉄の沈着(拡大写真②)が認められる。



側溝設置跡(海側壁面) M1ユニット  
薄片試料採取位置



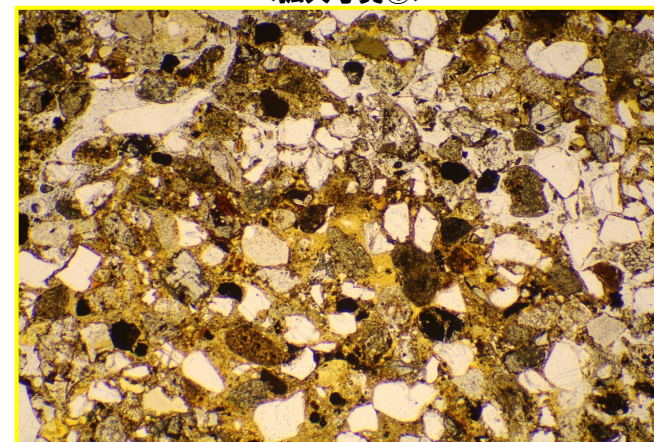
研磨片写真(左右反転)  
10mm



粘土  
鉱物が  
濃集

オープンニコル  
10mm

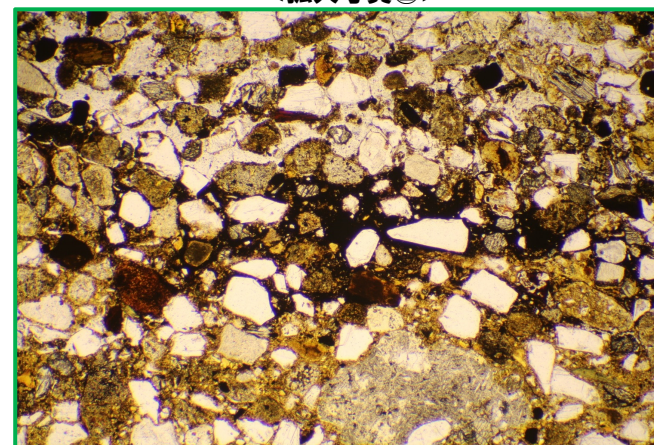
<拡大写真①>



オープンニコル

1mm

<拡大写真②>



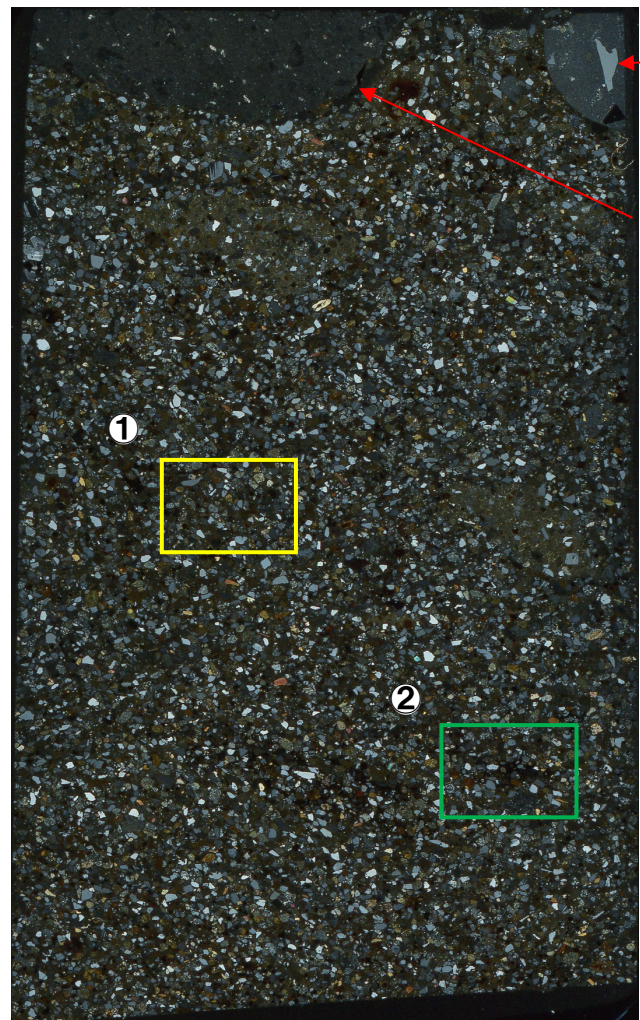
オープンニコル

1mm

(1)地層区分及びユニット区分

③-2 薄片観察-SKB-TW-3-2 (2/2) -

再掲 (R2/8/7審査会合)



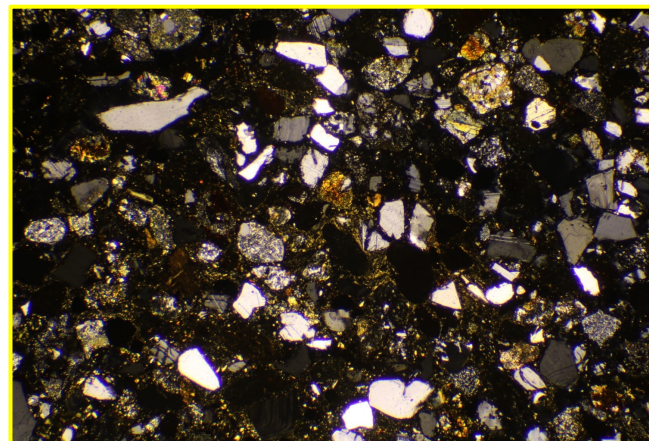
クロスニコル

10mm

流紋岩礫

火山礫  
凝灰岩礫

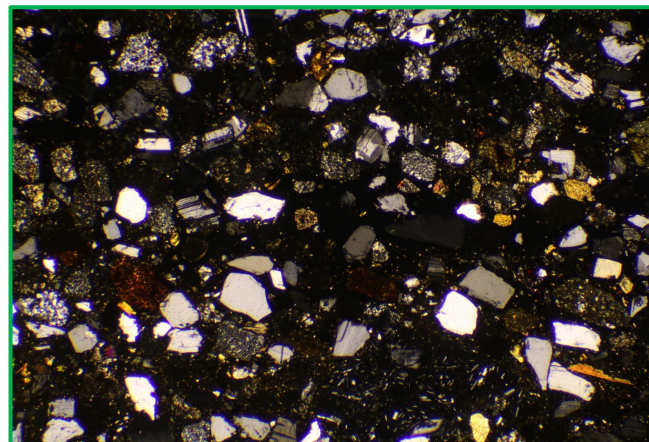
<拡大写真①>



クロスニコル

1mm

<拡大写真②>



クロスニコル

1mm

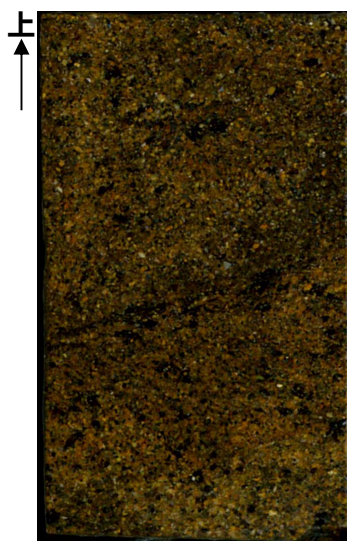
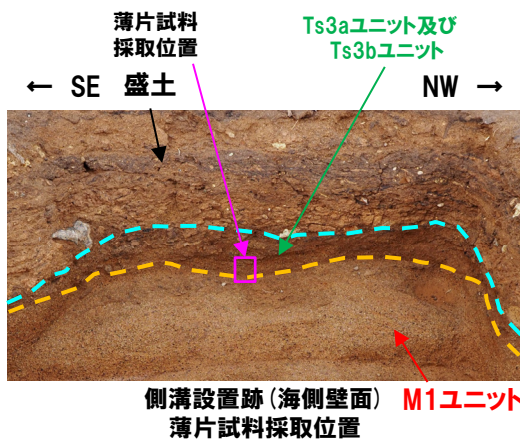
(1)地層区分及びユニット区分

③-2 薄片観察-SKB-TW-3-3(1/2)-

一部修正 (R2/8/7審査会合)

【SKB-TW-3-3 (Ts3aユニット)】

○丸みを帯びた砂粒径の碎屑物を主体とし、角ばった砂粒径の碎屑物が少量混じる。粒子間に少量の泥粒径の碎屑物及び粘土鉱物が認められる(拡大写真①及び②)。

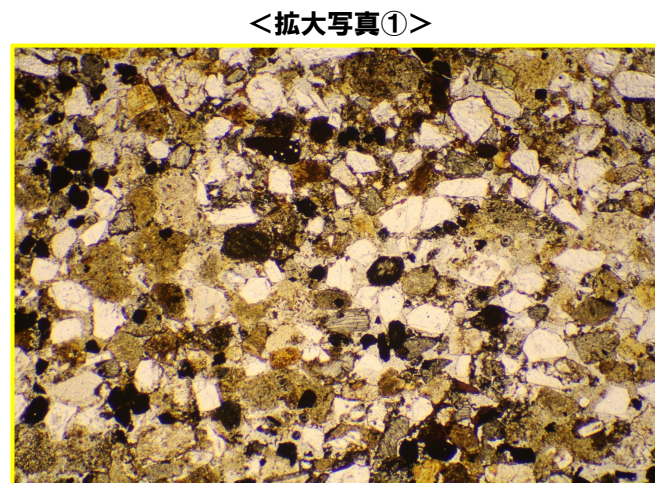


10mm  
研磨片写真(左右反転)



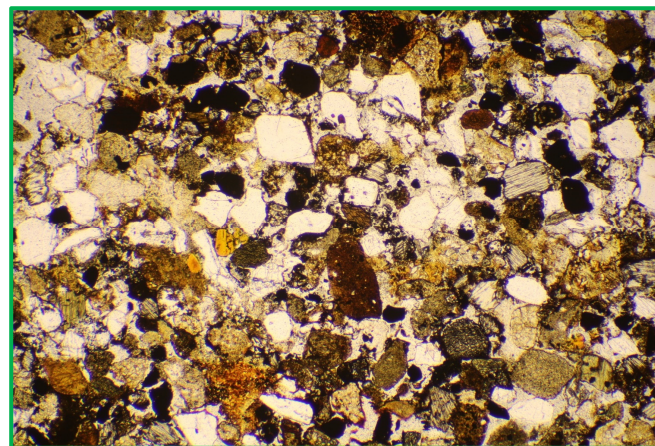
オープンニコル

10mm



オープンニコル

1mm



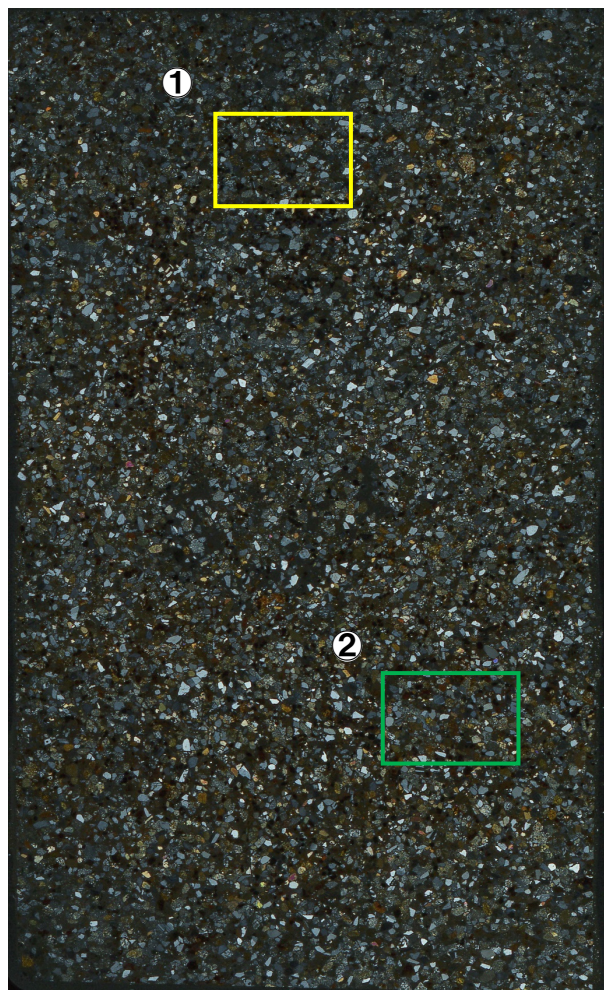
オープンニコル

1mm

(1)地層区分及びユニット区分

③-2 薄片観察-SKB-TW-3-3 (2/2) -

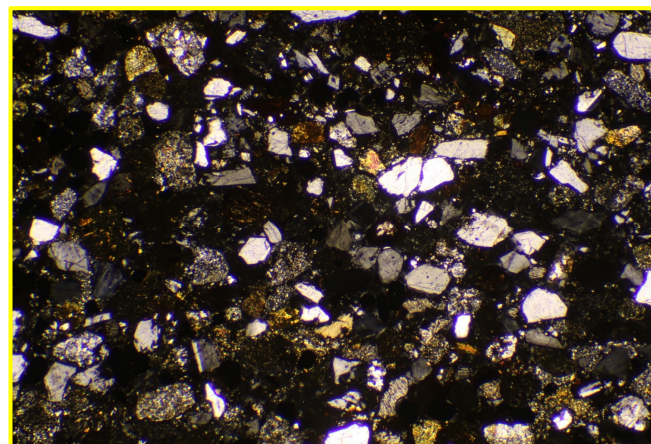
再掲 (R2/8/7審査会合)



クロスニコル

10mm

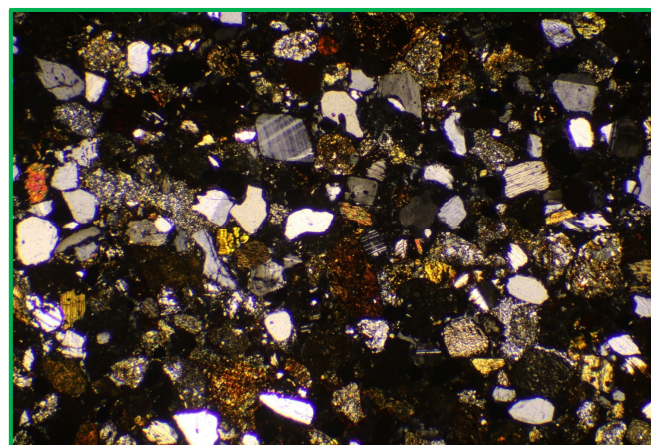
<拡大写真①>



クロスニコル

1mm

<拡大写真②>



クロスニコル

1mm

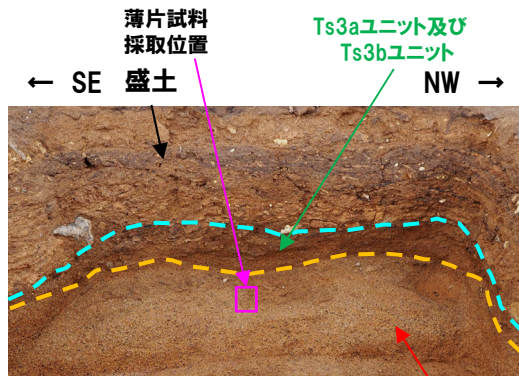
(1)地層区分及びユニット区分

③-2 薄片観察-SKB-TW-3-4(1/2)-

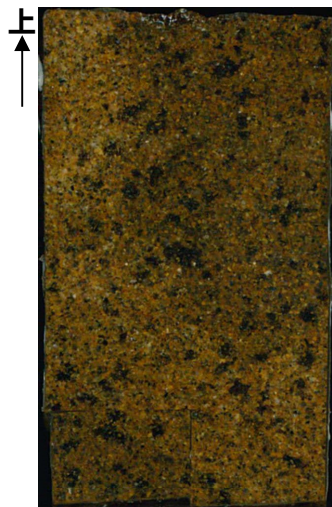
一部修正 (R2/8/7審査会合)

【SKB-TW-3-4 (M1ユニット)】

○丸みを帯びた砂粒径の碎屑物を主体とし、粒子の縁に泥粒径の碎屑物がわずかに認められるが、粒子間は空隙となっており粘土鉱物は認められない(拡大写真①及び②)。



側溝設置跡(海側壁面)  
薄片試料採取位置

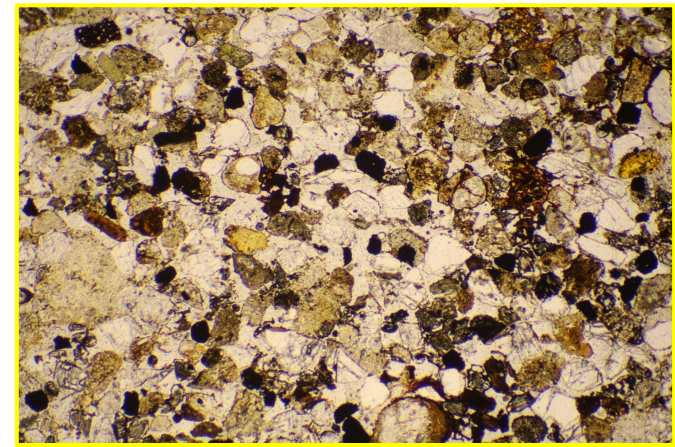


研磨片写真(左右反転)  
10mm



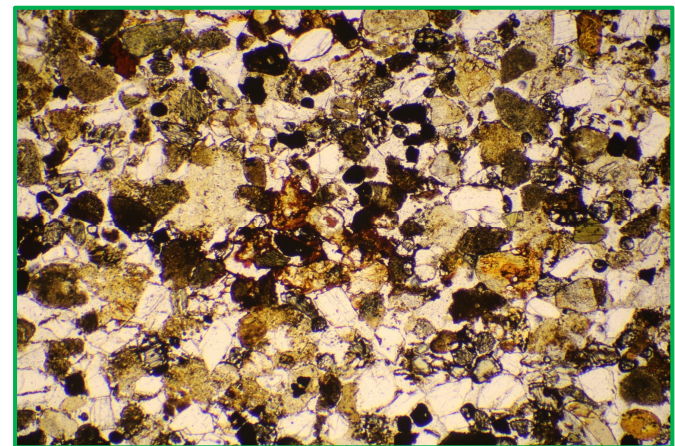
オープンニコル  
10mm

<拡大写真①>



オープンニコル  
1mm

<拡大写真②>

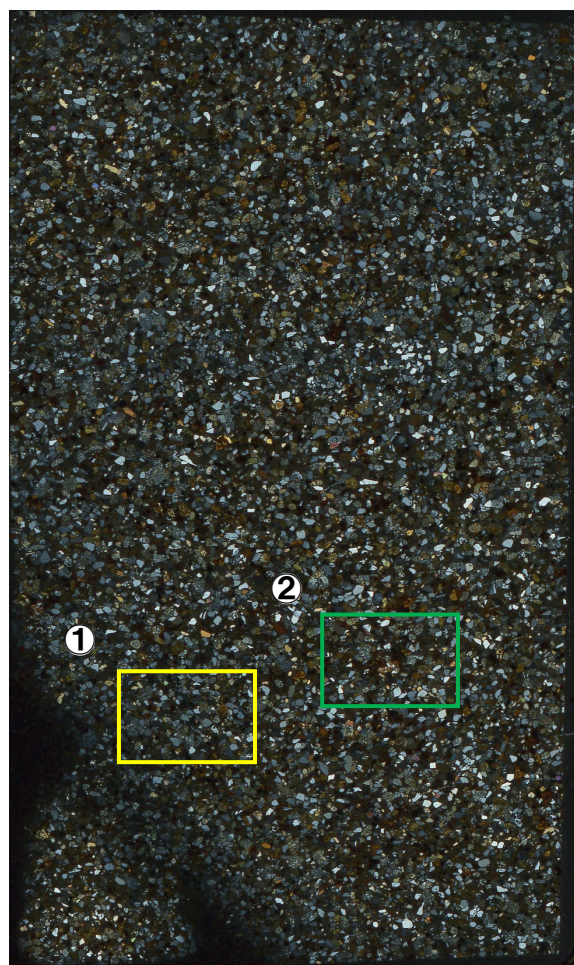


オープンニコル  
1mm

## (1)地層区分及びユニット区分

## ③-2 薄片観察-SKB-TW-3-4(2/2) -

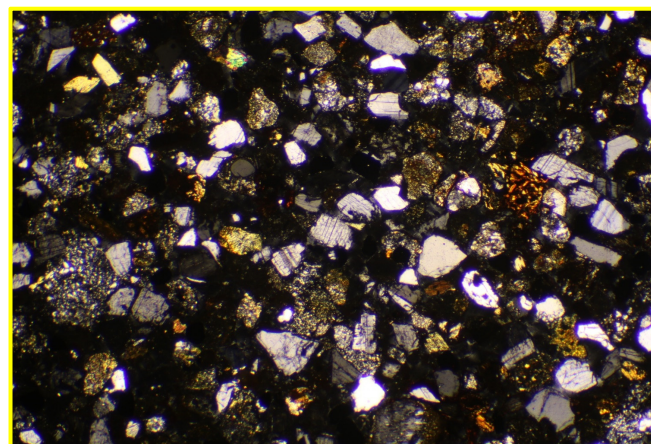
再掲(R2/8/7審査会合)



クロスニ科尔

10mm

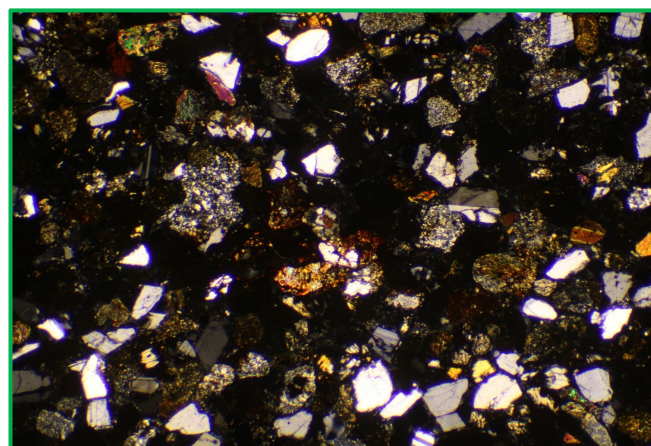
&lt;拡大写真①&gt;



クロスニ科尔

1mm

&lt;拡大写真②&gt;



クロスニ科尔

1mm

(1)地層区分及びユニット区分

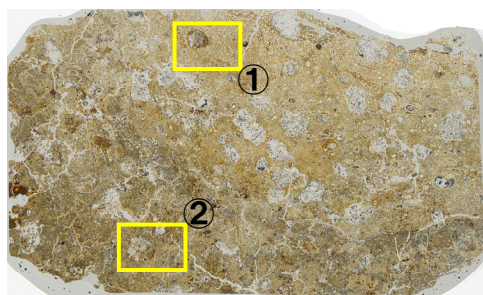
③-2 薄片観察-SKB-4-

一部修正 (R2/4/16審査会合)

【SKB-4 (旧海食崖を形成する基盤岩である火山礫凝灰岩)】

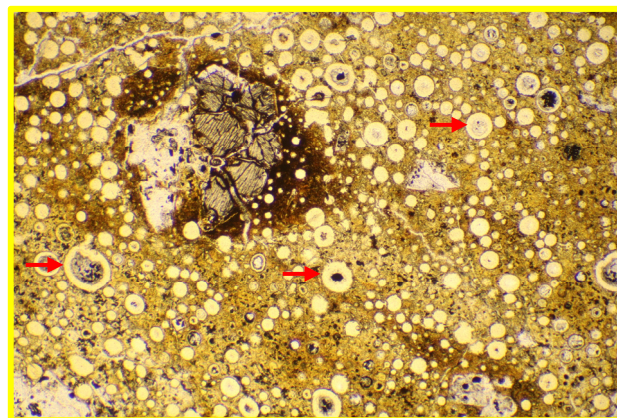
- 火山礫凝灰岩中には、多くの発泡痕が認められ、発泡痕を非晶質なシリカが埋める状況が認められる。
- これらの発泡痕の周辺においては、変質により形成されたと考えられる粘土鉱物が認められる。
- なお、上述の非晶質なシリカ(発泡痕)は、斜面堆積物中に岩片として特徴的に認められることから、「火山礫凝灰岩由来の岩片」と特記している(P280及びP306参照)。

<拡大写真①>



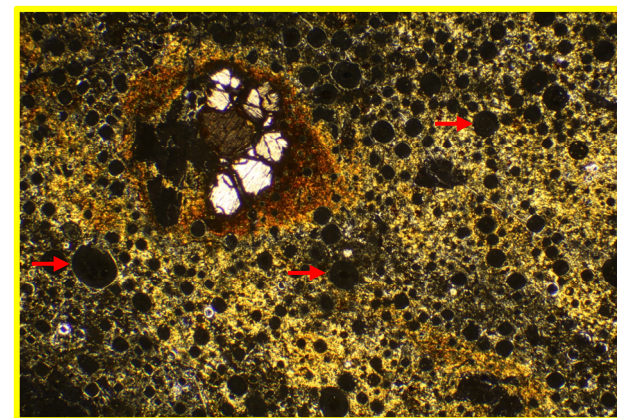
オープンニコル

10mm



オープンニコル

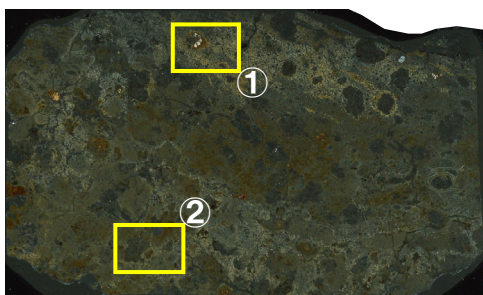
1mm



クロスニコル

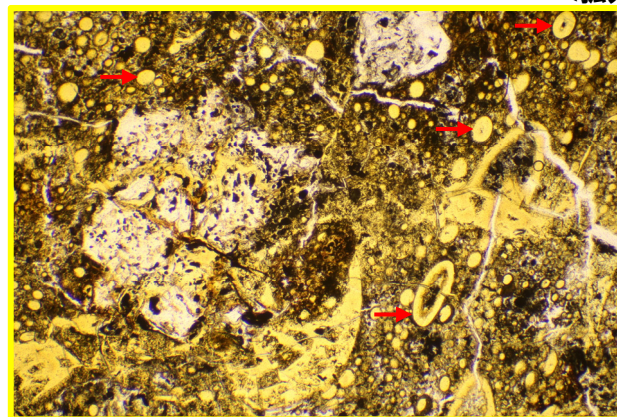
1mm

<拡大写真②>



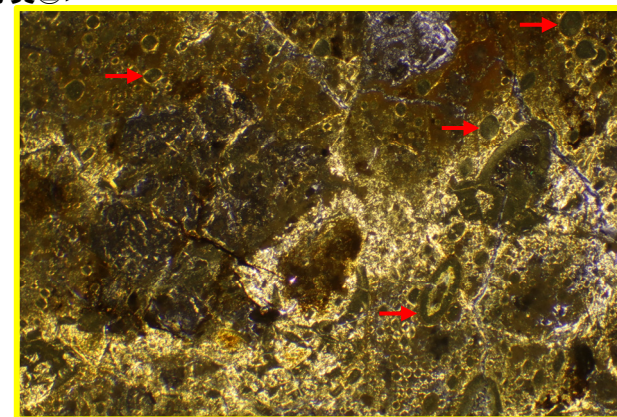
クロスニコル

10mm



オープンニコル

1mm



クロスニコル

1mm

→ : 火山礫凝灰岩中に認められる発泡痕



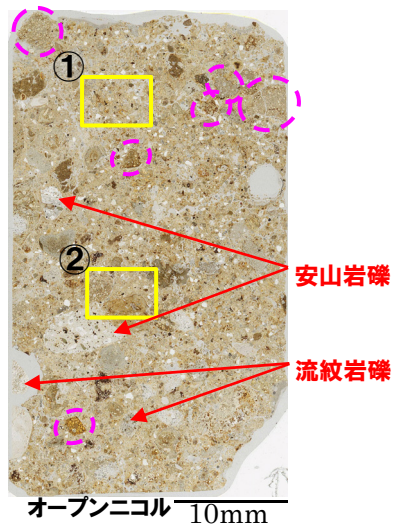
(1)地層区分及びユニット区分

③-2 薄片観察-SKB-2-1-

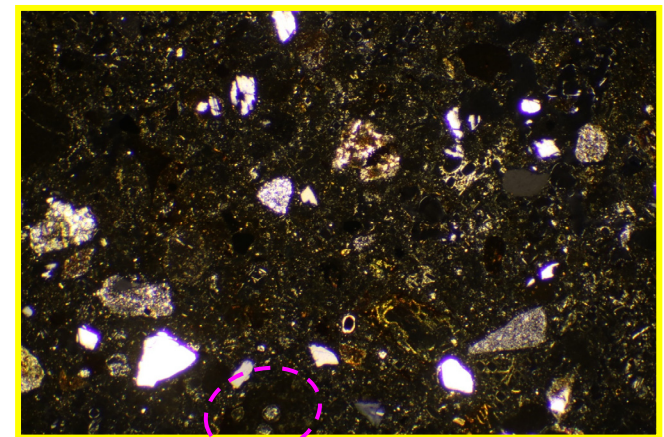
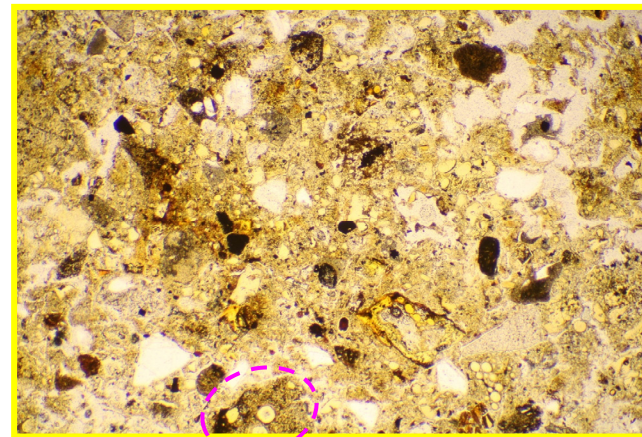
一部修正 (R2/4/16審査会合)

【SKB-2-1 (Ts2ユニット)】

- 旧海食崖を形成する基盤岩である火山礫凝灰岩由来の礫及び粘土鉱物を主体とし、角ばった砂粒径の碎屑物が少量混じる。
- 火山礫凝灰岩礫は、比較的大きな角礫であり、加えて、安山岩及び流紋岩等の円礫が認められる。



<拡大写真①>



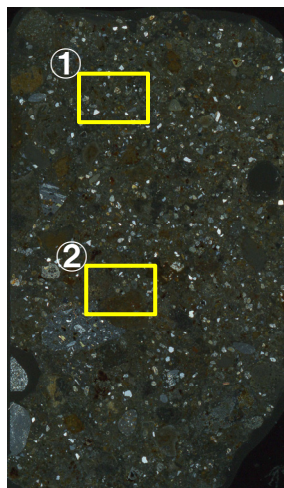
オープンニコル

1mm

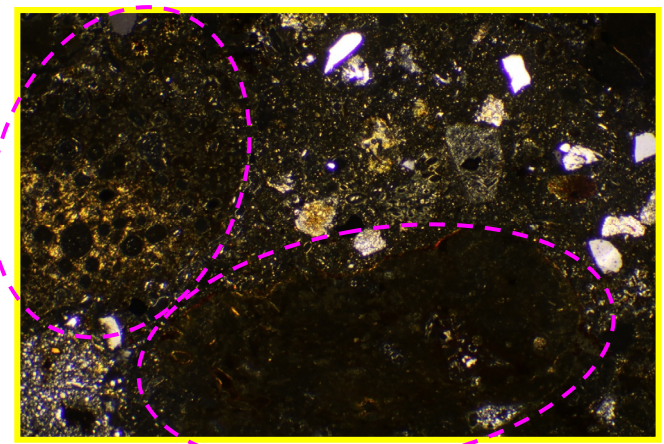
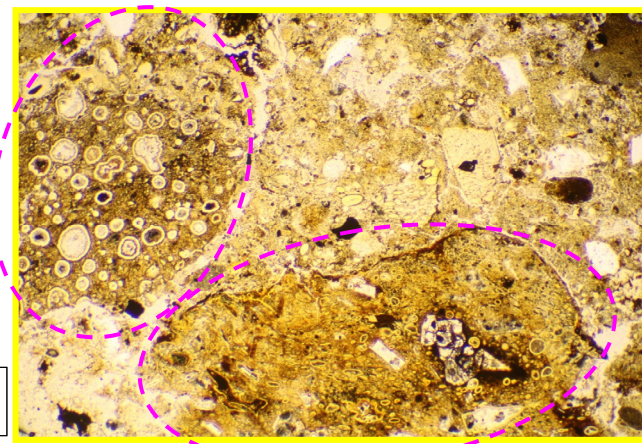
クロスニコル

1mm

<拡大写真②>



(○) : 火山礫凝灰岩由来の礫



オープンニコル

1mm

クロスニコル

1mm

クロスニコル 10mm

(1)地層区分及びユニット区分

③-2 薄片観察-SKB-2-2-

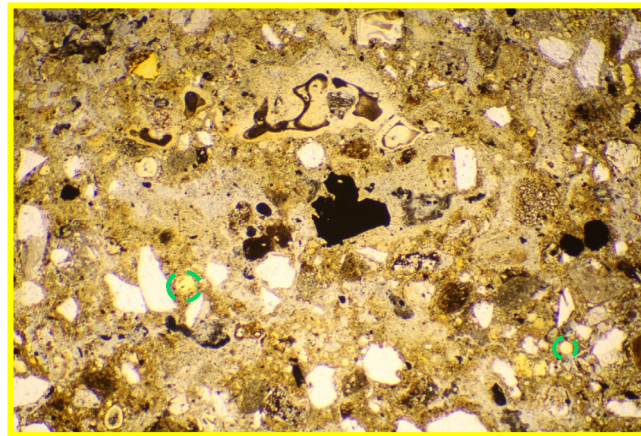
一部修正 (R2/4/16審査会合)

【SKB-2-2 (Ts2ユニット)】

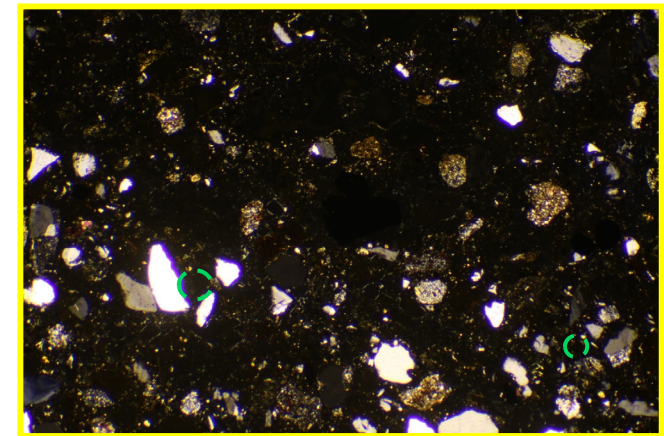
- 角ばった砂粒径の碎屑物を主体とし、丸みを帯びた砂粒径の碎屑物が少量混じる。また、粒子間に粘土鉱物及び泥粒径の碎屑物が認められる。
- 旧海食崖を形成する基盤岩である火山礫凝灰岩由来の岩片が多く認められる。



オープンニコル 10mm

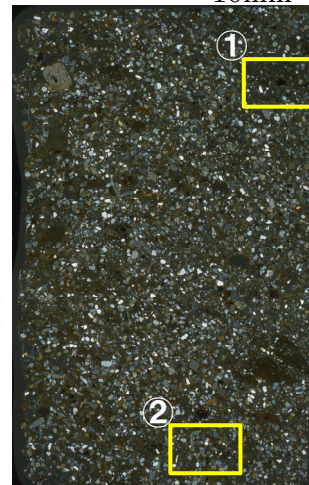


オープンニコル 1mm

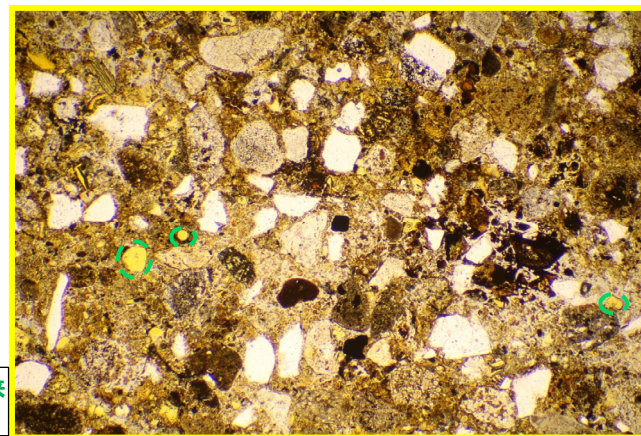


クロスニコル 1mm

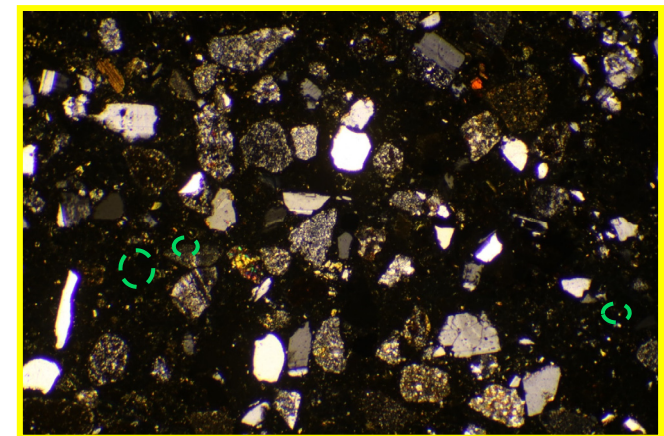
<拡大写真①>



クロスニコル 10mm



オープンニコル 1mm



クロスニコル 1mm

<拡大写真②>

○:火山礫凝灰岩由来の岩片